

NACCSについて ～保稅関連業務(海上)を中心に～

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
ソリューション事業推進部 お客様サポート課

平成30年9月更新

本日のご説明の概要

I	NACCSの概要	3
	・ NACCSの沿革	4
	・ NACCSへの参加状況	7
	・ NACCSの導入効果	9
	・ 輸入貨物の流れとNACCS処理の概要	11
	・ パッケージソフトでの業務方法	15
II	NACCS掲示板について	18
	・ 掲示板の活用	19
	・ 「業務別クイックメニュー」かんたんご利用ガイド	20
	・ 業務コード不明時の業務仕様検索方法	24
	・ パッケージからNACCS業務関連コード確認	25
III	第6次NACCS開発コンセプトと更改のポイント等	26
III	NACCSセンターからのお知らせ	31

I NACCSの概要

NACCSの沿革(1)

NACCS(Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System)は、入出港する船舶・航空機及び輸出入される貨物について、税関その他の関係行政機関に対する手続及び関連する民間業務をオンラインで処理するシステムです。

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社は、輸出入及びこれに関連する民間業務を電子的に処理するプログラムである輸出入・港湾関連情報処理システム(NACCS)の管理、プログラム開発・変更等、同システムの運営に関する業務を行っております。

昭和53年 5月 (新東京国際空港(成田国際空港)開港)

昭和53年 8月 航空貨物通関情報処理システム(Air-NACCS)稼働開始(航空貨物輸入システム)

60年 1月 輸出入統合航空システム稼働開始

平成 3年10月 海上貨物通関情報処理システム(Sea-NACCS)稼働開始

5年 2月 更改Air-NACCS稼働開始

9年 2月 輸入食品監視支援システム(FAINS)とのインターフェース開始

9年 4月 輸入植物検査手続電算処理システム(PQ-NETWORK)、動物検疫検査手続電算処理システム(ANIPAS)とのインターフェース開始

11年10月 更改Sea-NACCS稼働開始

13年10月 更改Air-NACCS稼働開始

14年11月 貿易管理オープンネットワークシステム(JETRAS)とのインターフェース開始

15年 3月 netNACCS(NACCSのインターネットによる利用)稼働開始

15年 7月 輸入・港湾関連手続シングルウィンドウ業務の開始

16年 3月 マルチペイメントネットワーク(MPN)対応の運用開始

20年10月 Sea-NACCSの更改及び府省共通ポータル稼働、関税等のリアルタイム口座振替方式(ダイレクト方式)の運用開始

22年 2月 Air-NACCSの更改及びSea-NACCSとの統合、貿易管理サブシステムの稼働、空港入出港手続シングルウィンドウ業務を開始し、新たにNACCSとして稼働

25年10月 PQ-NETWORK、ANIPAS、FAINSをNACCSへ統合

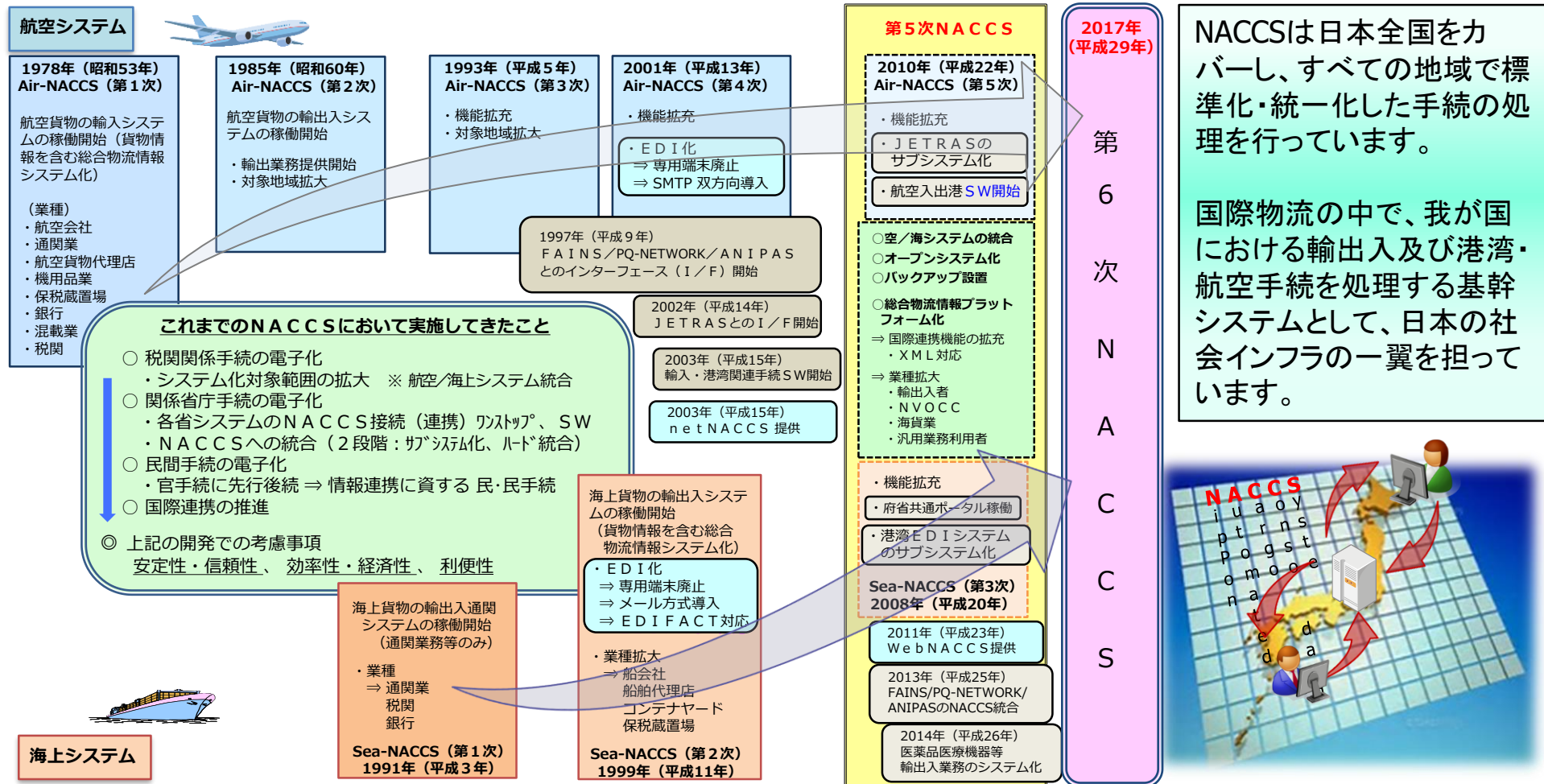
26年 3月 出港前報告制度の実施に伴いNACCSが対応

26年11月 医薬品等輸出入業務をNACCSで開始

29年10月 第6次NACCSの稼働

昭和53年(1978年) NACCSスタート(AIR-NACCS(輸入))
平成 3年(1991年) SEA-NACCSスタート
平成 9年(1997年) 他法令システムとの連携開始
平成22年(2010年) SEA-NACCSとAIR-NACCSの統合
平成29年(2017年) 第6次NACCSの稼働

〈NACCSのこれまでのあゆみ〉



<NACCSの開発経緯と背景>

大蔵省関税局総務課電算機通関管理室 室長 諏訪園貞男氏「NACCSの稼働開始について」

〔貿易実務ダイジェスト1978年11月号1ページ ※組織、法令等の記述については当時のまま、下線追記(太字化)〕

【開発の背景と経緯】

わが国の貿易は毎年著しい伸びを続けていますが、とりわけ航空貨物は国際取引の迅速化、高度化を反映して増加の一途をたどり、生鮮食料品、医薬品、貴石、貴金属、電子計算機械、精密機械等各種の商品が取り扱われています。この増加に伴い、空港における貨物関係の処理業務も年々繁忙の度を高めています。

昭和47年の輸入貨物の量は5万2,000トンでありましたが、52年には11万6,000トンと約2.2倍となり、60年には115万4,000トン(47年の約11.5倍)になると予測されます。一方、これに対応する税関の輸入許可件数は、昭和47年に対し、52年は約1.4倍に達しており、60年には47年の約3.3倍に達すると予測されます。このように増加する貨物を処理するために必要な人員を確保することは税関も関連業界においても非常に困難な情勢にあります。しかし、航空貨物は一刻も早く貨物を引き取ることが強く要請されており、税関手続その他の民間業務に長時間を要し、貨物の引き取りがおくれることは極力避けなければなりません。

今後の貨物量の増加に対処し、限られた人員で迅速、かつ、的確に業務の処理をしていくためには、電算機システムの導入が有効な手段であります。(中略)

49年12月には、東京税関に「航空貨物電算化準備室」が設置され、本格的な検討が開始されました。税関手続のほか、関連民間業務についても対象業務に含めることがその目的を達成するのに必要であることから、東京税関に航空会社、機用品会社、上屋業者、混載仕分業者、通関業者、銀行を含む「NACCS開発推進協議会」が設置され、官民による共同開発作業が進められました。

昭和40年末頃は、全国の輸出港において、輸入貨物が急増し、保税地域は貨物で満杯となり滞貨が著しく、その解消が急務であった。

〔大蔵省関税局輸出課課長補佐 福佐浩一氏「保税

地域の滞貨の現状とその対策」

貿易実務ダイジェスト1974年2月号1ページから引用〕



保税倉庫が満杯で、やむなく艀を倉庫代わりに使用するいわゆる“倉ばしけ”の群一横浜港で



スポットにまであふれた羽田空港の輸入貨物

1. システム契約者数【航空】

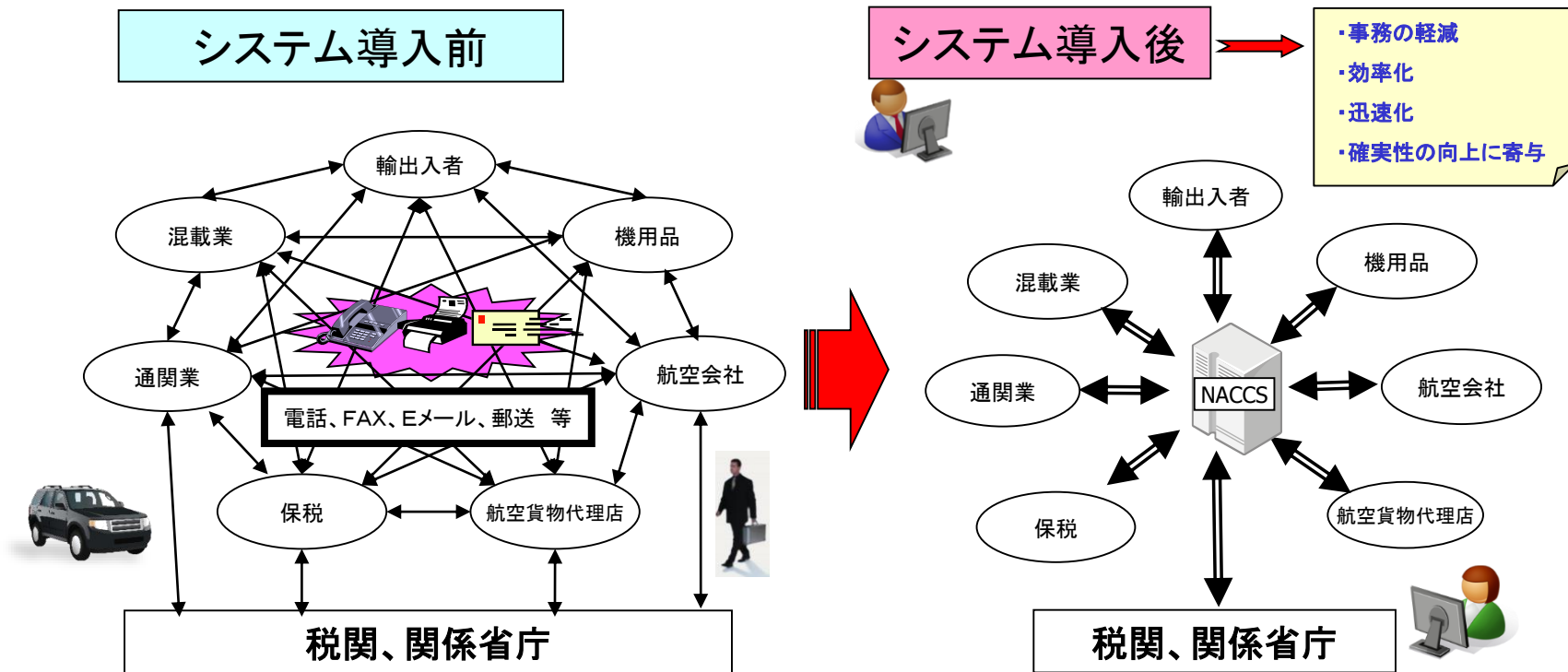
	社 数			事業所数		
	平成30年 3月末	増減 (対29.3末)	平成29年 3月末	平成30年 3月末	増減 (対29.3末)	平成29年 3月末
航空会社	123	2	121	416	16	400
航空貨物代理店	171	5	166	603	3	600
保税蔵置場	557	300	257	1,594	995	599
混 載	219	10	209	649	19	630
通 関	947	245	702	1,659	495	1,164
機用品	19	0	19	31	△1	32
損害保険会社	10	10	－	47	47	－
輸出入者	2,322	390	1,932	2,448	418	2,030
汎用申請者	947	35	912	1,225	43	1,182
合 計	5,315 (4,556)	997 (821)	4,318 (3,735)	8,672 (7,157)	2,035 (1,850)	6,637 (5,307)
対29年3月末比	123.1% (122.0%)			130.7% (134.9%)		

- (注) 1. 【海・空共用】の事業所については、システム契約者数【海上】及びシステム契約者数【航空】の両者に加算している。
2. 下段 () 書きは、会社及び事業所の契約数を記載している。

2. システム契約者数【海上】

	社 数			事業所数		
	平成30年 3月末	増減 (対29.3末)	平成29年 3月末	平成30年 3月末	増減 (対29.3末)	平成29年 3月末
船 会 社	223	9	214	314	12	302
船舶代理店	963	24	939	1,707	33	1,674
C Y	428	5	423	1,113	20	1,093
保税蔵置場	1,544	24	1,520	3,561	74	3,487
N V O C C	344	31	313	577	46	531
通 関	1,539	87	1,452	2,581	106	2,475
海 貨	440	14	426	978	36	942
機 用 品	8	8	—	13	13	—
損害保険会社	10	10	—	47	47	—
輸出入者	2,415	386	2,029	2,549	410	2,139
汎用申請者	947	35	912	1,225	43	1,182
バンプール	1	0	1	4	1	3
合 計	8,862 (6,612)	633 (565)	8,229 (6,047)	14,669 (10,927)	841 (739)	13,828 (10,188)
対29年3月末比	107.7% (109.3%)			106.1% (107.3%)		

- (注) 1. 【海・空共用】の事業所については、システム契約者数【海上】及びシステム契約者数【航空】の両者に加算している。
2. 下段 () 書きは、会社及び事業所の契約数を記載している。



システム導入のメリット

システム参加者間で情報の一元管理や共有化、再利用を実現

- ！ 関係者間の情報の送受信手段の一元化
- ！ ペーパーレス化の実現
- ！ 税関手続等に係る事務の軽減
- ！ NACCS登録情報の活用
- ！ 情報提供サービスの向上

多くのお客様にNACCSをご利用していただくことが、国際物流の効率化と発展につながります。

- 保税運送貨物の到着確認のために税関へ赴く手間が省ける
- 搬入時等の税関への事故通知もNACCSで可能
- 通関業者自身がNACCSで照会できるので、搬入確認の電話が減る
- 輸出入許可情報がリアルタイムに配信され、作業プランが立てやすい
- 貨物情報の照会により、荷主等からの問合せにも迅速に対応できる
- 管理資料を保税台帳として使用できる

NACCSでは、保税蔵置場等における貨物搬出入等の情報を管理資料として提供していますので、「保税台帳」として活用できます。

輸入貨物搬出入データ

輸出貨物搬出入データ

貨物取扱等一覧データ

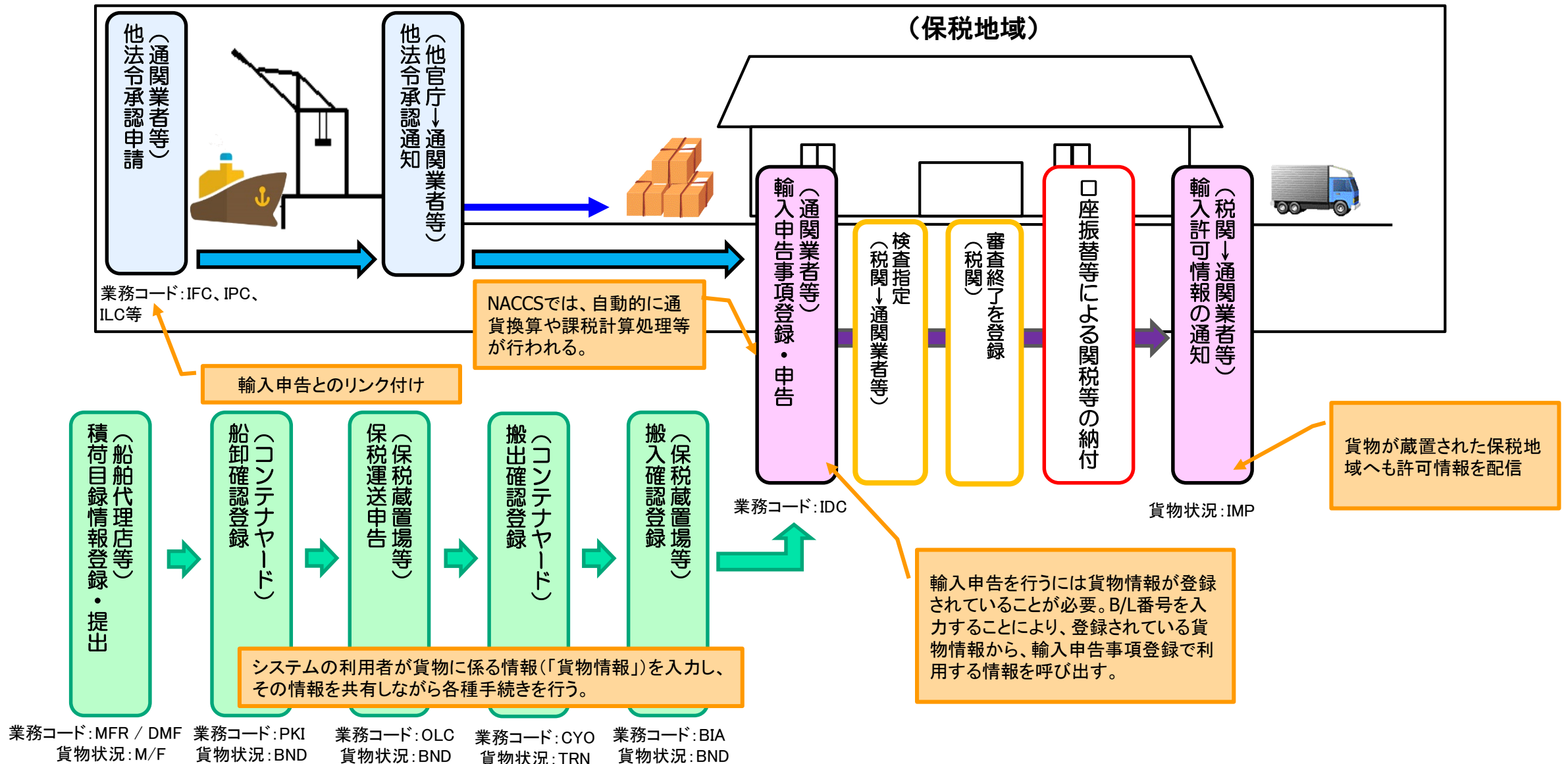
搬出入確認登録



保税蔵置場

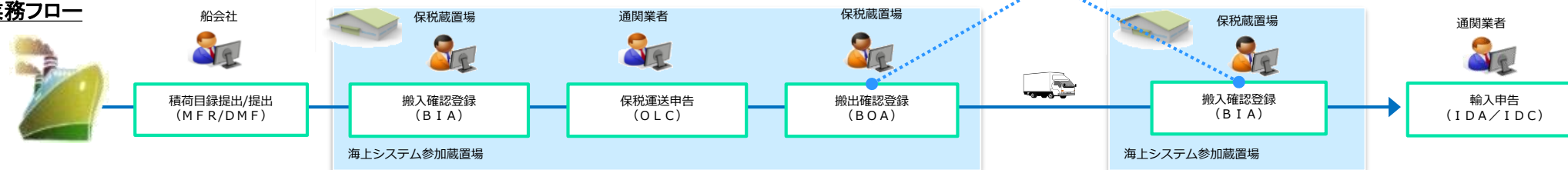
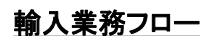
輸入貨物の流れとNACCS処理の概要(1)

■ 輸入におけるNACCS利用の流れ



輸入貨物の流れとNACCS処理の概要(2)

■ NACCSで実施可能な主な業務について



●行政手続

＜業務名＞	＜業務コード＞	＜関連法令：関税法＞	＜業務＞
保稅運送申告	OLC	第63条(保稅運送)	保稅運送承認申告、到着確認
搬出確認登録	BOC(輸出)、BOA(輸入)	第34条2項(記帳義務)	搬出確認
搬入確認登録	BIC、BID(輸出)、BIA(輸入)	第34条2項(記帳義務)	搬入確認
バンニング情報登録	VAN、VAE	第67条(輸出又は輸入の許可)	輸出許可済貨物のコンテナへの積込
貨物取扱登録	CHN、CHS、CHU	第40条(貨物の取扱い)	内容点検、改裝仕分、仕合業務
貨物取扱許可申請	CHD	第40条2項(貨物の取扱い)	貨物取扱許可申請
見本持出許可申請 等	MHA 等	第32条(見本の一時持出) 等	見本一時持出許可申請 等
輸入申告	IDC	第7条(申告)、第67条(輸出又は輸入の許可) 等	輸入(納税)申告 等
輸出申告	EDC	第67条(輸出又は輸入の許可)、第75条(外国貨物の積戻し) 等	輸出申告、積戻し申告 等

●管理統計資料

＜管理資料名＞	＜管理資料コード＞	＜周期と配信日＞
G01 輸入貨物搬出入データ	SBS1400	週報 月曜 8:00以降
G05 貨物取扱一覧データ	SBS1700	週報 火曜 8:00以降
G08 輸入貨物コンテナ関連データ	SBS1800	週報 月曜 8:00以降
G02 輸出貨物搬出入データ	SBT0200	週報 火曜 8:00以降
G09 輸出貨物コンテナ関連データ	SBT0500	週報 火曜 8:00以降

※ 管理資料を活用して、在庫状況の把握には、NACCSによる貨物管理(棚卸)が有効であり、
電子的記録により保存台帳として保存が出来ます。
NACCSでの貨物情報の照会により、荷主等からの問合せにもリアルタイムに対応できます。

●民間手続

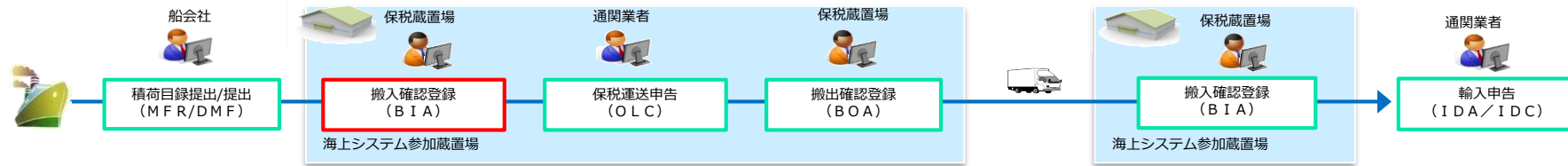
＜業務名＞	＜業務コード＞
貨物情報照会	ICG
貨物在庫状況照会 等	IWS
コンテナ情報照会	ICN
輸入申告事項登録	IDA
輸出申告事項登録	EDA

● 行政手續(汎用申請手續き業務)

＜業務名＞	＜業務コード＞
汎用申請	HYS

輸入貨物の流れとNACCS処理の概要(3)

■ 搬入確認登録業務: BIA業務(海上システム)



BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時* 2012/02/17 - _:_ 搬入識別* A 搬入蔵置場

1 番号 15000075850

到着個数 - 重量 容積 -

記号番号

記事

通知識別

事故 1 2 5

選択する「搬入識別」により、入力必須項目あるいは入力不可項目が異なります。

搬入識別が「C」、及び「D」の場合は必須入力

選択する「搬入識別」により、入力する番号が異なります。

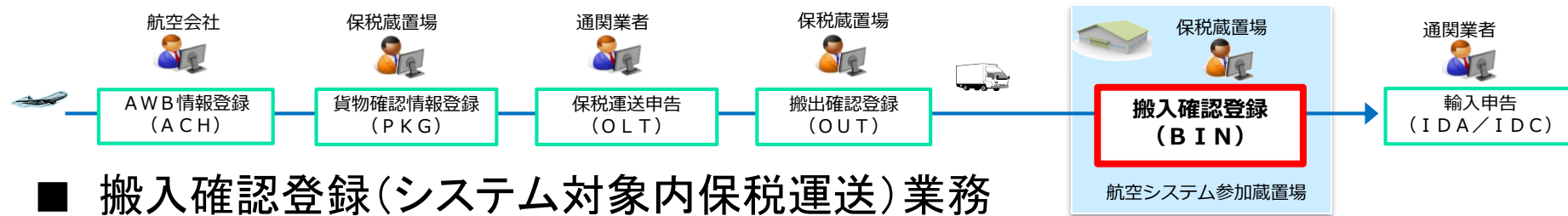
搬入識別	
【一回に登録する件数や事故通知の有無などによって識別を使い分けます。】	
A	保税運送申告番号で登録するとき (一度に登録できるのは1申告)
B	コンテナ番号で登録するとき (一度に登録できるのは1コンテナ)
C	B/L番号で登録するとき (一度に登録できるのはB/L20件まで)
D	ポートノート搬入貨物または揚地詮議有りの貨物のとき (B/L番号を入力。一度に登録できるのは20件まで)
E	コンテナ検査後に運送指定され到着する貨物のとき (輸入申告番号を入力。一度に登録できるのは1件)

BIA業務で登録した情報を訂正するには、SAI11業務で貨物情報呼び出した上で、SAI業務「輸入貨物訂正」を行います。(注:一部SAI業務では訂正できない項目もあります。)
なお、BIA業務は取り消すことができないので、取消しが必要な場合は税関にご相談ください。

- ・OLC業務にて保税運送申告された貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務を行います。
- ・本業務によりコンテナ情報と貨物情報が切り離されます。(本業務は**デバンニングの搬入**です。)

輸入貨物の流れとNACCS処理の概要(4)

■ 搬入確認登録業務:BIN業務(航空システム)



■ 搬入確認登録(システム対象内保税運送)業務

システム対象内保税蔵置場から保税運送申告等、または貨物移動情報の登録がされた貨物の搬入確認は BIN業務により行います。

■ BIN業務の入力内容

搬入確認を行う対象貨物の保税運送申告番号を入力

保税運送申告番号等※ 14000019120

(SAMPLE) 搬入状況通知情報
BOND IN STATUS INFORMATION

UNMC *	PRID *	DAMG *	DATE	PRID	FROM	TO
OLT NO.	14000019230		2009.07.13- 13:40	2009.07.13 / 2009.10.20	1AAZK	
FLI NO.			MAWB NO.			
PLACE	1HAB3		IN FROM	2011.01.27- 16:00		

AWB NO.	(AFTER) (BEFORE)	PCS	APCS	WEIGHT	COMMODITY	STATUS	SPC
333 10038324		100	99	123,456.7	LADIES DRESSES	ZSHT	
		100		123,456.7	LADIES DRESSES		

入力後送信すると、次のBIN01画面へ展開

誤った情報が登録されてしまうのを防ぐ為、直接“BIN01”業務にて登録を行わずに、**BIN業務にてAWB情報等**を呼び出してから登録を行ってください。



パッケージソフトでの業務方法(1)

■ パッケージソフトの起動・ログオン

パッケージソフトを起動し、オンライン業務ができるようにNACCSへログオンします。

起動・ログオン

①パッケージソフトのショートカットは、パッケージソフトをインストールした際にデスクトップ上にアイコンが自動作成されます。デスクトップのパッケージソフトのショートカットアイコンをダブルクリックします。

②メイン画面が開くので、「利用者ID」と「パスワード」を入力し「ログオン」ボタンをクリックします。

【注意】
◆ 複数の利用者IDをお持ちの場合は、ログオンの際に利用者IDを誤っていないかご確認ください。

■ 業務コード入力での展開

予め目的の業務コードが分かっている場合に、業務コード、種別コードを指定して業務画面を展開します。

外部ファイルを開く 名前を付けて保存 印刷 印刷プレビュー 電文を開く
ログオン ログオフ 新規業務画面 即時電文取り出し 蓄積電文取り出し

利用者ID入力
利用者ID IJNACN0H
パスワード *****
ログオン

業務コード入力
業務コード UOC11 EXO型宛
種別
OK

NACCS
受信
送信対象
送信済み
ごみ箱

検索文字列

	A/S	業務コード
	S	ICG
	S	ICG
	C	TCC
	C	TCC
	A	IIE
	A	IIE
	C	URY
	C	URY

「業務コード入力」からの画面展開

- ①「業務コード入力」にて業務コードを入力します。
- ②入力した業務コードが複数の画面を持っている場合のみ、「種別」のプルダウンメニューが選択可能となりますので、目的の種別を選択します。
- ③「OK」ボタンをクリックします。
- ④目的の業務画面が別ウィンドウで開きます。

種別の指定が不要な場合

業務コード入力
業務コード VBX 船舶基本情
種別
OK

種別の指定が必要な場合

業務コード入力
業務コード IDA
種別 SID (輸入申告)
OK

処理区分* (9:登録)

船舶コード* -

IMO番号 漁船登録番号

種類*

国籍* 船籍港* -

ファイル(F) 表示

共通部 繰返部

大額/少額* 申告等種別* 申告先種別 貨物識別 申告番号* 識別符号

あて先官署 あて先部門 申告等予定年月日

輸入者 住所

■ 業務コード入力での展開

目的の業務コードは分かっていないが、業務名称が分かっている場合に、業務メニューから目的の業務名称を選択してクリックし、業務画面を展開します。

The screenshot shows the main interface of the software. On the left, there's a 'Business Menu' (業務メニュー) with a tree structure. The 'IDA 輸入申告事項登録' (IDA Import Declaration Item Registration) option is highlighted with a red box and labeled with a red circle ①. A blue arrow points from this option to a detailed form window on the right. The form window has a 'Continue' (継続) tab selected, and it contains various input fields for declaration details, labeled with a red circle ②.

「業務メニュー」からの画面展開

①メイン画面の「業務メニュー」タブを開き、目的の業務名称をクリックします。

②目的の業務画面が別ウィンドウで開きます。

Ⅱ NACCS掲示板について

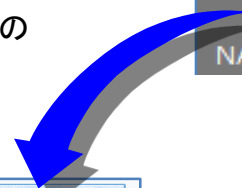
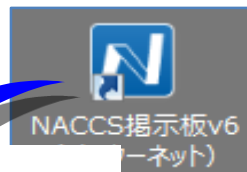
■ NACCS掲示板の活用

NACCS掲示板には、各種お知らせや参考情報等を掲載しています。NACCS掲示板をこまめにご確認くださいますようお願いいたします。

- ・パッケージソフトをインストールしたパソコンのデスクトップの「N」字のショートカットアイコン
- ・パッケージソフトの「ヘルプ(H)|NACCS掲示板を開く(N)」のいずれからでも開くことが可能です。

・NACCS 掲示板:

<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/>



NACCS掲示板の活用

NACCS掲示板には、以下の情報が掲載されています。

◆ピックアップメニュー

業務コード集、パッケージソフトやデジタル証明書に係る資料等を掲載しています。

◆新着情報

関係法令の改正、バージョンアップ情報、業務コードの更新、業務仕様の更新、官公庁のシステム停止、説明会等のご案内等を掲載しています。

◆NACCSのご利用方法

システムの利用規程や料金プラン等を掲載しています。

◆申込手続(NSS)

NACCSサポートシステム(NSS)からの申込に係る各種情報を掲載しています。

◆NACCS業務仕様・関連資料

講習会の資料や業務フロー図、自社システム用のEDI仕様書、エラーメッセージ集等を掲載しています。

◆よくある問合せ

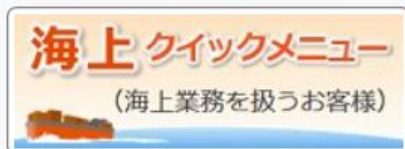
よくある問合せをカテゴリ別に掲載しています。

お問合せいただく前に、ご確認ください。

◆業務別クイックメニュー

業務分野ごとに「業務仕様書」「FAQ(よくある問合せ)」「業務講習会資料」等を一つのページに集約して掲載しています。

業務別クイックメニューの利用方法等については次ページを参照



「業務別クイックメニュー」をご覧ください誠に有り難うございます。

はじめてご利用になれるお客様に簡単に「業務別クイックメニュー」の利用方法をご説明いたします。

《業務別クイックメニューとは》

日々、NACCSをご利用いただいているお客様からのご意見等を参考に海上システム、航空システムの「業務別クイックメニュー」を作成いたしました。

業務分野ごとに「業務仕様書」「FAQ(よくある問合せ)」「業務講習会資料」を一つのページに集約し、また、業務コード集や「電算関係税関業務事務処理要領」等、お客様が日々の業務で使う情報へのリンクを同ページ内に設定しました。

「業務別クイックメニュー」へは、トップページの「航空クイックメニュー」「海上クイックメニュー」のボタンから、ご覧いただくことが可能です。



日々の業務で是非、ご活用ください。

「業務別クイックメニュー」かんたんご利用ガイド(2)

①「航空クイックメニュー」
②「海上クイックメニュー」のボタンから進みます。

③ご覧になりたい業務を選んでください。
対象業務ごとにページが閲覧できます。

海上クイックメニューのご案内

ピックアップメニュー

- お知らせ
- 業務コード集
- 業務エラーメッセージ
- よくある問合せ
- 業務講習会資料
- 業務フロー
- 電算関係税関業務事務処理要領
- 業務仕様書
- EDI仕様書
- 仕様変更一覧
- 出港前報告制度
- ACL
- CY搬入業務
- システム計画停止スケジュール

日頃より弊社の業務にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。これまでにヘルプデスクの場、
お客様からいただいたご意見等を参考にさせていただき、「業務別クイックメニュー」を新設いたしました。

業務分野ごとに「業務仕様書」「FAQ（よくある問合せ）」「業務講習会資料」を一つのページに集約し、
業務コード集や「電算関係税関業務事務処理要領」等、お客様が日々の業務で使う情報へのリンクを同一
に設定しました。

航空業務輸入、海上業務輸入のページには、ヘルプデスクへのお問い合わせの多い原産地識別コード等
収めました。

是非、日々の業務でご活用ください。

ご覧になりたい業務を選んでください。対象業務ごとにページが閲覧できます。

海上業務輸出

海上業務輸入

入出港 関連業務

【WebNACCSのご案内】

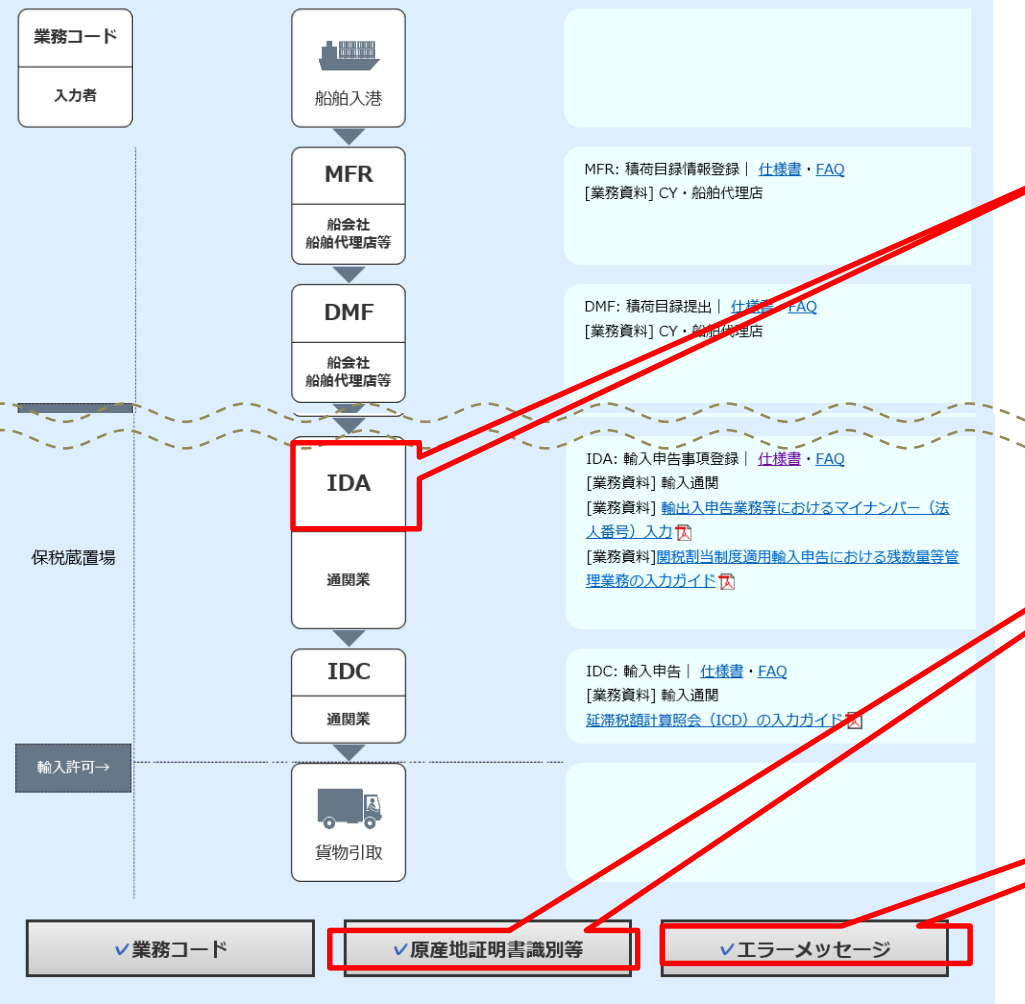
次期（第6次）NACCSでは、海上入出港業務の一部について、従来のNACCSパッケージソフトによる業
から、インターネットのWebブラウザから業務入力を直接可能とする新たな方式（この方式を「WebN
といいます。）とします。なお、引続きパッケージソフトでの利用が可能な業務もありますので、パッ
フトまたはWebNACCSのいずれの対象業務であるかについて、以下のリンクボタン「入出港関連業務
WebNACCS/パッケージソフト」を押下して情報をご確認ください。

「業務別クイックメニュー」かんたんご利用ガイド(3)

海上業務輸入

フロー上の業務コードをクリックすると業務仕様書ページが開きます。

※ コンテナ貨物の場合



④業務仕様書や原産地証明書識別、業務エラーメッセージ集、電算関係税関業務事務処理要領等へのクイックアクセスが可能となっています。

業務仕様書

業務仕様書

5001 IDA 輸入申告事項登録 海上

業務項目	5001
業務コード	IDA
業務名	輸入申告事項登録
業務概要	

業務仕様書
業務コード集
業務エラーメッセージ集
仕様変更一覧
EDI仕様書
航空業務講習会資料
海上業務講習会資料
電算関係税関業務事務処理要領
外為法関連資料(貿易管理システム)
医薬品医療機器等申請業務
輸出証明書等発給申請業務
各種資料

入力者
EDIFACT (入力) 使用可能
使用メッセージ

原産地証明書識別等

項目	内容	掲載場所
1	「原産地証明書識別」の掲載場所について	業務コード集 共通30 原産地証明書識別
2	「納付方法識別」の掲載場所について	IDA業務仕様書 ⇒概要 7.特記事項 (3) 納付方法識別及び口座番号の入力方法について
3	「特恵税率適用可能識別」の掲載場所について	IDA業務仕様書 ⇒輸入申告入力(A)情報 【項目175】
4	「口座識別コード」の掲載場所について	IDA業務仕様書 ⇒輸入申告等関係(A)情報 【項目129】
5	「納期延長コード」の掲載場所について	IDA業務仕様書 ⇒概要 7.特記事項 (1) 納期延長コードの入力方法について

業務エラーメッセージ集

業務エラーメッセージ集

1 2 3 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V 管理資料

仕様変更一覧	1A	
EDI仕様書	1B	
航空業務講習会資料	1C	
海上業務講習会資料	1D	
電算関係税関業務事務処理要領	1E	
外為法関連資料(貿易管理システム)	1F	
医薬品医療機器等申請業務	1G	
輸出証明書等発給申請業務	1H	
各種資料	1I	

※税関手続きについては、税関業務事務処理要領をご参照ください

電算関係税関業務事務処理要領

海上講習会資料

業務資料 海上編

以下の資料につきましては、一部を除き第5次版「業務講習会資料」から第6次版へ移行しました。

項目	資料	更新履歴
入出港業務	入出港 (5MBytes)	2018/4 (56KBytes)
	船会社用 船舶受委託関係のNACCS登録業務説明 (1MBytes)	2018/2 (51KBytes)
	WebNACCSの操作 (入出港業務) (4MBytes)	2018/4 (35KBytes)
通関業務	輸出通関 (3MBytes) (通関業会主催) NACCS講習会に使用しています	2018/2 (88KBytes)
	輸入通関 (4MBytes) (通関業会主催) NACCS講習会に使用しています	2018/2 (101KBytes)
	輸出入申告業務等におけるマイナンバー (法人番号) 入力 (2MBytes)	2017/7 (35KBytes)
	通関士審査業務 (1MBytes)	2017/10 (31KBytes)
	輸出取止め再輸入業務 (841KBytes)	2017/10 (32KBytes)
	原産地証明書識別の4桁化 (752KBytes)	2017/10 (34KBytes)
	関税割当制度適用輸入申告における残数量等管理業務 (2MBytes)	2018/3 (51KBytes)

ピックアップメニューの【業務講習会資料・業務フロー】を選択することでNACCS業務講習会資料やNACCS業務フロー図を確認することが可能です

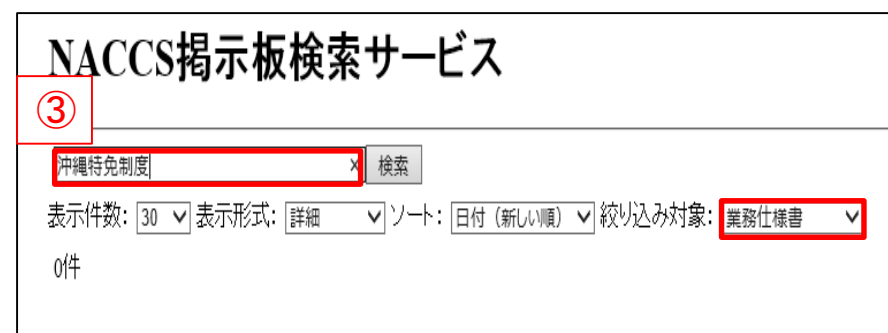
例. 沖縄特免制度の輸入申告事項登録に関する業務仕様を確認したいが「業務コード」がわからない。



NACCS掲示板トップページから「NACCS業務仕様書・関連資料」をクリックします



「NACCS業務仕様書・関連資料」のページから検索ボタンをクリックします



検索欄に関連ワード(例.沖縄特免制度)を入力し「業務仕様書」で絞り込みます



「OTA 輸入申告事項登録(沖縄特免制度)」の業務仕様書の他、関連業務が検索結果表示されます。

2. 特定の保税地域に対する「保税地域コード」を確認したい。

「コード集」タブからは、NACCS掲示板の業務コード集ページへジャンプできます。

NACCS 掲示板

業務コード集 (NACCS)

共通 航空 海上

コード名称	データ	最新データ掲載日	前回との
1 BP申請事由コード	CSV形式	2017.6.5	
2 NACCS用品目コード (98種)	CSV形式	2018.4.2	CSV形式
3 NACCS用品目コード (少額輸入貨物)	CSV形式	2018.4.2	CSV形式

参考

コード集のリンク一覧表

NACCS業務関連コード	危険物積付場所コード一覧
港湾関連業務コード	通貨一覧
輸入食品監視支援業務関連コード	航路一覧
L 製造者(A)コード(食肉及び食肉製品以外の製造者)	航路・航路区間一覧
L 製造者(B)コード(食肉及び食肉製品の製造者)	錨地指定一覧
品目コード	旅客乗降用施設情報一覧
動物検疫業務関連コード	ひき船情報一覧
植物検疫業務関連コード	給水施設情報一覧
JETRAS業務関連コード	荷役機械情報一覧
乗員上陸許可支援システム業務関連コード	上屋・荷さばき地・野積場情報一覧
事務取扱要領	コンテナ用電源施設情報一覧
国コード一覧	減免・還付理由一覧
船種一覧	
世界の港コード一覧	
日本港コード一覧	
港(施設)コード一覧	
特別な保安措置一覧	
職名一覧	
保安に関する参考事項一覧	
危険物数量単位コード一覧	

Ⅲ 第6次NACCS開発コンセプトと更改のポイント等

官民共同利用システムとして、 安定性・信頼性の高いシステム

- ・システムの安定性、信頼性を確保するシステム更改の実現
- ・情報の適正管理と情報セキュリティの確保
- ・平成22年12月10日に発生したシステム障害を踏まえ、バックアップ機能の改善等の検討



- ・海／空統合、関係省庁システム統合後の初めての更改であり、円滑なシステム移行を確保
- ・現行NACCSと同等の稼働率の継続
- ・セキュリティ機能の見直し
- ・バックアップ機能の改善
 - ⇒ 切替時間の短縮化
 - ⇒ 関係省庁手続のバックアップ機能の追加
 - ⇒ 切替方法の改善（利用者側の作業の省略化）

公共的インフラとして、 効率性・経済性の高いシステム

- ・システムの効率性、経済性を確保するシステム構成、業務機能の見直し
- ・システム開発コストの低減化の実現
- ・関係省庁システムとの統合の見直し



- ・業務実態・利用者ニーズを踏まえた 業務全般の最適化 及び 開発コストの低減化
- ・利用実態等を踏まえたオンライン業務、管理資料の一部廃止
- ・一般競争入札による調達
- ・港湾サブシステム等のNACCS統合化

総合物流情報プラットフォーム としての更なる機能の充実

- ・関係業界、利用者のニーズを業務仕様に反映
- ・貿易関連手続きの更なるペーパーレス化の進展
- ・BtoB、BtoGのポータルとして、国際的なシステム連携機能や民間システムとの連携強化の検討
- ・利用者インターフェース、ネットワークの充実



- ・利用者ニーズを十分に反映するためサブワーキングを設置
- ・損害保険業務とNACCSとの連携
- ・船腹予約業務、危険物明細書のシステム化（海上）
- ・EDIFACT、XML等の利用による国際標準への対応
- ・荷主の情報入力を最上流とする業務フローの見直し（海上）
- ・添付ファイル容量の拡大（3M→10M）
- ・WebNACCSの対象範囲の拡大

1. 第6次NACCS更改の特徴

(1) これまでにない大規模な同時更改

- ① システム統合後初めての更改
⇒ 航空・海上システム統合(H22.2)及び関係省庁システム統合(H25.10)、加えて港湾サブシステムの統合化
- ② 利用者数の増加
⇒ 社数で約4.5倍の増加
[5次更改時(H20.3):1,849社(4,747事業所)⇒現在(H27.12):8,605社(13,851事業所)]
- ③ 海外との新たな接続形態の増加
⇒ 出港前報告制度導入に伴う海外サービスプロバイダーとの接続、航空旅客情報報告に伴う航空通信回線の利用
- ④ 提供業務数の拡大
⇒ 第5次NACCS更改時点の業務数:(820業務)⇒第6次NACCS更改時点の業務数:(1,383業務)

(2) システムの安定性・信頼性の更なる向上

大規模災害・大規模障害等発生時におけるバックアップセンターへの切替方法の見直し
⇒ 切替時間の短縮、利用者側作業の軽減を目的とするメイン⇄バックの自動切替の導入

(3) 行政手続きシステムとしての機能拡充、的確な制度改正への対応

- ① 新たな国の施策等への対応
(e.g. マイナンバー(法人番号)の導入、輸出入申告官署の自由化、通関手続に係る電子手続の原則化等)
- ② これまでシステム処理の対象としていなかった手続きのシステム化(e.g. 輸出取止め再輸入手続等)
- ③ 現行システム中に開発された行政手続きに係るシステム機能の改善(e.g. 出港前報告制度、旅客予約情報報告業務)
- ④ 関係省庁手続き機能の改善(e.g. 通関関係関連省庁添付登録業務の新設等)

(4) 総合物流情報プラットフォームとしての機能拡充

- ① 民業業務のシステム化(e.g. 船腹予約業務、危険物明細書作成業務等)
- ② 損害保険会社の新規参加による包括保険関連手続きのシステム化
- ③ 荷主の情報入力を最上流とする海上輸出貨物の物流フローの見直し
- ④ 国際標準へ準拠(EDIFACT対応、XML対応の継続)

(5) 利用者における利便性の向上

- ① 民間利用者からのプログラム変更要望の棚卸し(約250件の要望項目中、87項目に対応)
- ② 利用頻度の高い照会業務等についてWebによる業務提供の導入

2. 航空機能の特徴

(1) 成熟が進む中での開発

航空物流機能については、数次に亘るシステム更改を経て、業務フロー、業務仕様共に成熟化が進んでおり、システムの効率性・経済性を重視した機能の見直しを行い、システム開発コストの低減化を実現

(2) 物流の実態を踏まえた機能改善

B to Cの拡大などの物流実態やその変化に対応した機能追加（HAWBの登録可能件数の拡大、海上貨物として輸入される機用品に対する機用品蔵入承認申請の可能化 等）

(3) 航空物流におけるEDI化の推進

海上システムにおける航空貨物の通関機能を廃止し、海上貨物は海上機能で、航空貨物は航空機能で処理することを原則化（航空物流において手作業処理が介在しない一貫したシステム処理を実現）

3. 海上機能の特徴

(1) 海上物流フローの見直し（最適化）

- ① 海上における輸出の物流フローについては、荷主による情報入力を最上流とした上で、B/L作成系と通関系の2つの流れに大別し、かつ、荷主が入力する情報と後続業務との情報連携の強化を実現
- ② 海上における輸入の物流フローについても、荷主による輸入指示情報の輸入申告業務への情報連携を実現

(2) 港湾におけるシングルウィンドウ機能の拡充

- ① 港湾サブシステムのNACCS本体への統合等によるシングルウィンドウ機能の改善
- ② 入出港関連手続きにおけるユーザーインターフェースの改善としてWeb化の導入 等

(3) 港湾手続きにおけるEDI化の推進

- ① 船腹予約業務、危険物明細書作成業務等のシステム化
- ② 第5次NACCSから参加している海貨業界の要望等を踏まえたACL業務、CY搬出入業務における利便性向上を図るための機能改善

IV NACCSセンターからのお知らせ

【お知らせ】ヘルプデスクへのWebフォームを利用したお問合せのご案内について

お急ぎでないNACCS業務に関するお問合せにつきましては、電話口でお待ちいただくことなくお仕事のご都合に合わせてお問合わせいただけるよう、Webフォームによるお問い合わせをご案内しております。
お問合せの前に、「業務コード」「エラーコード」「業務仕様書等」をご確認いただきますと、解決が早くなります。

Webフォームでのお問合せを是非、ご活用ください。

＜お問合せWebフォーム＞

- ・海上入出港業務に関するお問合せは、[こちら](#)
- ・通関・貨物に関するお問合せは、[こちら](#)
- ・その他NACCSのご利用に関するお問合せは、[こちら](#)

Webフォームによるお問合せの受付は、平日の08:30～19:00とさせていただきます。それ以外の時間に送信いただいた場合は、翌営業日の受付となります。

フリーダイヤル

事業所	電話番号	運営時間
ヘルプデスク	0120-794 550 (ナナキューヨン ゴゴゼロ)	終 日

海上入出港業務に関するお問合せフォーム

問合せの内容をご記入の上送信してください。(※は必須項目です。)
メールでの問合せ受付は、24時間可能となりますが、時間帯によっては、翌営業日に回答させていただく場合がございますのでご了承願います。

通関・貨物に関するお問合せフォーム

問合せの内容をご記入の上送信してください。(※は必須項目です。)
メールでの問合せ受付は、24時間可能となりますが、時間帯によって

《個人情報の取り扱い等について》
・当センターにおける個人情報の取り扱いについては、[こちら](#)

1.氏名 (全角) ※必須

例) 通関 太郎

2.氏名 (フリガナ) (全角カナ) ※必須

例) ツウカン タロウ

3.企業名 (全角) ※必須

例) ナックス商事株式会社

4.事業所: 名称 (全角) ※必須

例) 本社

NACCSに関するお問合せ

問合せの内容をご記入の上送信してください。(※は必須項目です。)
Webフォームでの問合せ受付は、平日8:30から19:00までとなります。それ以外の時間帯に送信された場合は、翌営業日に受付させていただきます。
受付後、担当者よりご連絡をさせていただきます。
《個人情報の取り扱い等について》
・当センターにおける個人情報の取り扱いについては、[こちら](#)をご覧ください。
・Webフォームでのお問合せについては、外部の電子メール配信サービスを利用して行っています。
Webフォームは、第三者による不正なアクセスに備え、SSL (Secure Socket Layer) により保護されています。

名前 ※必須

メールアドレス ※必須

(半角英数字)

ご住所 ※必須

会社名又は団体名 ※必須

NACCS利用者コード

(NACCS利用者コードをお持ちの方のみご記入ください。例: 1 ANAC)



私たちは、お客様と共に歩み、
「人・物・国」をつなぐNACCSを通じて、
国際物流の発展に貢献します。